

路線バスの必要性2

路線バスは地域の方々や来訪者の重要な移動手段というだけでなく、地域にとって重要な役割を持っています。

バスに乗れば、地域の人たちがどんな生活を送っていて、どんな表情をしているかが見えます。また、四季の移り変わりを発見することもできます。

まちなかの賑わいを演出する役割もしています。まちの賑やかさは車の数ではなく、歩いている人の数で判断されます。バスでは、バス停で人が待つし、バス停で降り、目的の場所まで歩きます。

車では行きたい場所の近くまでは行きますが、ほとんど歩きません。

車に依存したライフスタイルでは、人と人、人と地域、人と季節との「交流」が失われていきます。

毎日でなくても構いません。週1回、月1回、路線バスを利用して、車での移動では気づかなかった新しいことを発見してみてください。

**車窓から見る懐かしの風景**

12月7日から国際興業バスが誕生したときに採用されたカラーのバスが、飯能市・日高市内を運行しています。そのバスの車内では、「写真でたどる飯能市の60年（特別展）～車窓から見る懐かしの風景～」と題して、国際興業バスが本市を運行する前の「名栗交通」時代の写真やボンネットバス「さわらび号」の写真、昔の飯能駅や東飯能駅、「南高麗線バス開通記念」といった写真を展示しています。



それぞれの写真に「いつ頃の写真、どのバス停付近の写真」といった説明をしていますので、現在の風景と見比べることができます。

特別展は、3月末まで開催します。この機会に、ぜひ、このバスにご乗車いただき、写真をご覧ください。

このバスは、運行の都合から平日は不定期に運行していますが、土日祝日の運行ダイヤは公開しています。

国際興業バスホームページをご確認ください。

【<http://5931bus-pr.blogspot.jp/2013/12/pr.html>】

広小路を走る名栗バス（昭和31年）



「さわらび号」(平成10年)



※公共交通ニュースは市ホームページ及び地区行政センターでご覧いただけます。